

黄城

Ojyo News Letter Vol.56

CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	1
会長あいさつ・副会長あいさつ	5
校長あいさつ	5
各支部活動報告	6
卒業50周年を迎えて	8
黄城会総会を終えて	9
黄城会総会に向けて	9
後輩からの一言	10
合格だ!優勝だ!	11
会員寄付金の寄付者一覧	12
役員一覧、一般寄付金	13
会計報告	14
事務局通信	16

発行▶令和8年7月1日

発行所▶黄城会

発行人▶古賀 正人

印刷▶株式会社印刷

特集 ようこそ先輩!!

「変化への対応力 グローバル×ローカル」

南里 隆氏
小城市長



【講師紹介】

南里隆氏は高校卒業後、佐賀大学経済学部に進学されました。卒業後は佐賀県庁に入庁され、文化スポーツ部副部長、産業労働副部長、地域交流部長などを歴任。令和3年7月には佐賀県副知事に就任され、数々の県の要職も兼務されました。

令和6年12月に退任されると、令和7年4月からは小城市長に就任。現在も多忙な公務をこなされています。

皆さんおはようございます。小城市長の南里隆です。高校31回の卒業です。このような伝統ある場でお話をさせていただくことを大変光栄に思います。今日は、皆さんのこれからの進路選択の参考になればということで、私がやってきた仕事のことを紹介しながら「変化への対応力 グローバル×ローカル」と題して話をします。ポイントは、私たちを取り巻く環境がものすごいスピードで常に変化していること、そうした変化に対して過去の延長線上の発想では対応できないこと、新しいことに挑戦し続けることが大切だ、ということです。

(めぐりあわせ)

私は、1960年、小城市牛津町の生まれです。小城高校を1979年に卒業しました。部活はサッカー部で3年生のときは理系クラスでした。高校卒業後、佐賀大学を経て佐賀県に入庁しました。その頃は、公務員になるとか、佐賀県の職員になるなんて全く思っていませんでした。大学は経済的な理由もあったので家から通える佐賀大学に行ったという感じです。佐賀県に入ったのは、地元で就職しようと考え、地域振興のような仕事

ができればと思ったからです。

佐賀県では、いろいろな仕事をしました。県の仕事はとても幅が広くて10回ぐらい転職してきました。佐賀県の地域交流部長、副知事を務め、今、小城市長という立場にあります。政治の先輩からは、あなたの「めぐりあわせ」だと言われていています。いろいろな仕事をやってきたら、こうなったという感じです。

(民間との仕事)

私が佐賀県に入庁した翌年の1985年はプラザ合意による急速な円高で円高不況となった時期です。この時の大幅な金融緩和が結果的に1980年代後半のバブル経済を招き、1991年のバブル崩壊へと至ります。1990年代は、製造業を中心に企業の海外展開が加速し、フルセット型産業構造と言われた日本の産業構造が大きく変化していく時期でした。この頃、私は30代で、民間企業と多く関わる仕事をしました。企業誘致や地域産業の振興、佐賀空港の路線誘致などで、企業で言えば営業や渉外のような仕事をしました。外資系企業の誘致、韓国ソウルの民間企業での研修、外国航空会社の国際



チャーター便誘致など、海外の企業と関わる仕事も多く経験しました。この頃の経験が自分の考え方のベースになっています。一つは顧客起点です。自分たちの都合で物事を考えるのではなく、お客様立場から考えるという今では当たり前のことです。もう一つはスピード感覚です。とにかく技術革新や時代の変化のスピードが速くて、ずっと民間企業とお付き合いをしてきて、それを実感しています。それから、大きな視点で何が問題なのか、どうするのがいいのかを考えることですね。全く背景の違う外国の方々といろいろ話をするなかで、そうしたことが身につきました。そして、佐賀空港が開港した1998年頃は航空自由化が大きく進んでいく時期で、これ以降、激しい空港間競争や地域間競争を当事者として経験することになりました。

(経営者の仕事)

私が40代になった2000年代は、また世の中の状況が大きく変わっていきます。国内では国の財政が非常に厳しい時期になり、様々な行財政改革が進められました。平成の大合併もこの頃に進められました。2008年にはリーマン・ショック



産業振興

1996年9月 韓国民間企業研修（ソウル） 1か月間滞在



3

佐賀空港開港

1998年7月28日 佐賀空港開港 （以来、佐賀空港に長く関わる）



航空自由化、空港間競争

4

クがあり、世界同時不況に陥りました。そして、この年は日本の総人口のピークの年です。これ以降、日本の人口はずっと減っていくことになります。人口が増えていく時代から減っていく時代が変わり、それまでの考え方が通用しない全く新しいフェーズの時代に入ってくるわけです。2011年には東日本大震災が起こり、2016年に熊本地震が起こりました。2020年からは新型コロナウイルス感染症の感染拡大が起こりました。そうした大きな変化の中で、プロジェクト・リーダーや組織を動かす仕事に主に従事しました。

プロジェクト関係では、世界の素粒子物理学の研究者による ILC・国際リニアコライダー構想の誘致、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた外国チームのキャンプ誘致、外国航空会社との路線開設や増便交渉などのほか、伊万里港のコンテナ航路、韓国・中国・オランダ・タイ・フィンランドなどとの様々な事業にも関わりました。

災害対応では、東日本大震災の被災地支援のほか、2016年の熊本地震で最大震度7を観測し甚大な被害を受けた熊本県西原村の被災地支援で100日以上にわたって現

地と佐賀を行ったり来たりしながら対応しました。また、県内での災害対応のほか、鳥インフルエンザや豚熱への対応にも従事してきました。刻一刻と変化する状況の中で、先を見据え、全体と時間軸を見ながら、瞬時の判断を繰り返すという仕事です。

このような仕事に長く従事するなかで、経営者として、物事を多角的に見る、多面的に考える、という習慣がついています。

（世界に誇れる地域）

私は、佐賀県は、世界に通用するコンテンツをたくさん持っていると思っています。そうしたコンテンツを持っているからこそ、文化、スポーツ、輸出、インバウン

ドなどいろんなことで、海外の様々な地域と関わっています。今日お話ししたのは、佐賀県で私がやってきた仕事の中の極々一部です。それだけグローバルなつながりがある地域だということです。私自身は、いわゆる公務員らしい仕事はあまりやってこなくて、答えのない仕事とか、新しい仕事ばかりやってきたものですから、こういう経歴になっていますが、むしろ、佐賀県という自治体にいたからこそ、これぐらい幅広くいろんなことに関わってきたのかもしれない。

私は、47都道府県のいろいろな地域に行きました。プライベートも含めて、とにかく地域を見ると



春秋航空 佐賀⇄西安 開設

2019年10月28日～2020年1月31日（新型コロナ発生により運休）



いうことをやっています。どの地域にも本当に素晴らしいものたくさんあります。一方で、これは佐賀県にはないよね、というものもありませんでした。これは佐賀県のある所に似ているとか、これだったら佐賀県の方がいいよねとか、そういう感覚です。佐賀県には、ほとんど何でもあります。また、世界とやり取りしていると、佐賀県はものすごいコンテンツをいっぱい持っている訳です。

そして、世界の人はそれを評価してくれます。私たちの暮らしは、いろいろな世界と繋がっています。だからこそ、皆さんには、自分たちの地域や文化のことをよく知っていただいて、それを誇りに思っていただきたい。そして、それを自分の言葉で伝えられるようになってほしいと思います。



（挑戦なくして伝統なし）

不易と流行という言葉があります。これは松尾芭蕉が俳句の真髄ということと言われたもので、不易とは、いつまでも変わらないもの、普遍的な価値や本質という概念だと思ってください。流行というのは、時代とともに変化するもの、新しいもの、という概念です。これは、いろいろ解釈があるのですが、私は、常に新しいものを取り入れて変化していくこと自体が普遍的なものだ、と解釈しています。私たちを取り巻く環境は、ものすごいスピードでどんどん変わっていきます。だからこそ、私たちは、そうした変化に対応していかなければなりません。そのためには、古いものを大切にしながらも、常に新しいことにチャレンジしていくことが大切だと思

います。挑戦なくして伝統なし。伊万里・有田焼は400年以上伝統がありますが、作風は時代とともにどんどん変わっています。新しいことに常にチャレンジされていて、それをしてきたからこ



そ、伝統が続いている訳です。これは企業のロングセラー商品なども一緒です。

ぜひ、皆さんには、新しいことにどんどん挑戦してほしいと思います。もちろん失敗もします。なんでも上手くいくことはありません。でも、失敗も財産、経験です。失敗を恐れて何もしなければ何も生まれません。チャレンジすることで失敗しても、それは次のステップへの財産になります。だからこそ新しいものへの挑戦を続けていくことが大切だということです。皆さんの可能性は無限大にあります。ぜひ、いろんなことに挑戦をしてほしい。私たちはこれからも皆さんの様々な挑戦を応援したいと思います。今日は、ご清聴ありがとうございました。

Profile

南里 隆 (66歳)

小城高等学校 昭和53年度卒業

(高校31回卒)

1984年 3月 佐賀大学経済学部卒業

1984年 4月 佐賀県 入庁

2017年10月 佐賀県地域交流部長

2021年 7月 佐賀県副知事に就任

2025年 4月 小城市長に就任



ごあいさつ

黄城会会長
古賀 正人

全国の黄城会会員の皆様には、益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。

令和8年度黄城会総会は例年通り5月3日に母校体育館において高校53回卒の皆さんが永田実行委員長を中心に同級生の力を合わせ無事その大役を務められました。そのご苦勞に対し心より敬意を表します。今回初の試みとして全国にライブ配信で総会の様子をお届けしました。

当日はあいにくの空模様で会場内に空席が目立ったのは大変残念でした。今年は高校28回の皆さんの卒業50周年をお祝いしました。皆さんの卒業式で流れた「時代」の合唱に続き28回生の

元応援団のリーダーの先導により、小城高校応援歌の合唱を数十年ぶりに聞けて目頭が熱くなったのは私だけではなかったと思います。懐かしいものを聞かせていただき感動しました。令和7年度は数年ぶりに県庁支部総会が開催されました。本部総会、各支部総会共に、若い世代の参加者が少ないという問題があります。今回のライブ配信も、少しでも黄城会、母校小城高校に対しての関心を持っていただきたいという想いで配信させていただきました。この問題を解決する事が、黄城会がこれからも永きにわたり存続する為の条件の一つだと考えられます。今年は195名の卒業生を新会員として迎えました。生徒の減少は会費収入の減少に直接結びつき、会の活動自体にも影響が及ん

でいます。

現在約1万部を超える会報を発送しておりますが、その費用は支出の大きな部分を占めております。

今年度の理事評議委員会での決議を経て、令和9年度より会報の発送を会費納入者だけとする事となりました。宜しくご理解のほどお願いいたします。このように黄城会の財政も大変厳しいものとなっております。多くの会員の皆様のご支援を心よりお願いいたします。

結びになりますが、会員の皆様のご健勝ご多幸心より祈念いたしまして会報発行の挨拶といたします。



母校だより

校長
山下 康孝

黄城会の皆様におかれましては、日頃より佐賀県立小城高等学校の教育活動に対し、温かい御理解と力強い御支援を賜り、心より御礼申し上げます。私は、令和8年4月1日付けの人事異動により本校に着任しました校長の山下康孝（やましたやすたか）と申します。どうぞよろしくお願いします。校長として着任以来、本校を大切に思い、支えてくださる同窓の皆様の存在の大きさを日々実感しております。

本校は、幾多の先輩方が学び、巣立っていかれた歴史と伝統を受け継ぎながら、時代の変化に応じた新たな教育にも挑戦してまいりました。黄城会の皆様がそれぞれの分野で培ってこられた経験や実績は、本校にとってかけがえない財産であり、在校生にとっては将来を考える上での大きな目標となっ

ております。

例えば、本校では「オンリーワン活動」を行っています。これは、一人一人の生徒が、「これについては自信がある」「この点は自分を誇りに思う」など、かけがえのない自分を発見し、社会に貢献できる人材を育成することを目指したプログラムです。平成8年度より始まったこの活動も本年度で30年を迎えます。こうした長期間にわたり活動が継続できていますのも、ひとえに地元小城や黄城会の皆様の御理解・御協力の賜物であると確信しております。

また、昨年度は、多様性を尊重し、一人一人が自分らしく輝ける社会の実現を目指す取り組みの一環として、本校の生徒たちが障害者就労支援B型事業所PICFA（ピクファ）に所属するアーティストの方々と協働し、「共に生きる社会への願い」を込めた壁画を制作しました。壁画制作には小城市の南里市長様や大野教育長様にも御参加いただき、11月16日に行いました完成披露会

には佐賀県引馬副知事様や甲斐教育長様にも御出席いただきました。壁画は本校教室棟生徒昇降口にございます。御来校の際にはぜひ御覧いただけますと幸いです。

その他、生徒の活躍の詳細につきましては後の紙面を御覧ください。学業面でも部活動の面でも、例年と変わらず多くの生徒が輝かしい成果を上げてくれています。今年度は、「失敗を恐れず挑戦すること」「多様性を尊重すること」を重点目標に掲げ、教育活動を推進しております。今後も本校は、長い歴史の中で培われてきた伝統を大切に守りつつ、未来を担う生徒一人一人が自らの可能性を信じ、社会に貢献できる人材へと成長できるよう、教職員一同、誠心誠意教育活動に取り組んでまいります。引き続き、黄城会の皆様の変わらぬ御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



関東支部

関東黄城会総会の報告令和7年8月31日開催
猛暑・酷暑の続く8月31日の日曜日に恒例の竹橋・KKRホテル東京で開催しました。高齢者も多く6月からの開催呼びかけも反応が今一で心配していましたが、なんとか108名の参加で開催できました。黄城会古賀会長・高尾小城高校校長はじめ故郷から8人の来賓をむかえて、12時ジャストから順調に総会が始まりました。

今年の目玉は先輩3人の対談でした。3回6回9回の世の荒波を越えられた三者の語りは見事でした。司会の30回於保啓子副幹事長の軽快なリードで3回卒・本村秋雄さん93歳（教育者校長歴任）・90歳6回卒・三水会の瀬井房子さん（助産院経営）・古賀義規さん9回卒87歳（寿司店の経営者）の話に皆静かに聞き入り感動の連続でした。教育者・助産婦・経営者の三者の高校時代から今日の苦労話が明るいタッチで交わされ、流石に黄城人は「艱難汝を玉にす」の諺を実現していました。特に瀬井さんの「子供は夢を掴む為に産まれてくる、右手のひらに生き様の原点を左の手のひらにご先祖さんが書かれている。神が一瞬にしてそのことを知らせて文字は消える」と。「人はその文字を求めて生きてゆく」の言葉には神秘さと不思議な夢の感覚で温かい空気が満ちていました。

6回卒横尾安治さんの元気な迫力ある乾杯の音頭で食事会がスタート。6回卒故・吉村久夫先輩の遺作「天山の子」等35冊が遺族より寄贈され大人気の抽選会で歓声が上がりました。天山の子は自伝に近く小城の同級生たちの物語で涙や笑いがあふれる作品です。久しぶりの故郷名品販売も大人気で小城羊羹や丸ボーロが直ぐに売り切れました。

歌手の織田祐輔（江頭孝康39回芦刈）君と村木佑子さん（14回牛津）の歌の披露の後で村木佑子さんリードで故郷の合唱で最高の盛り上がりでした。6回卒成田和昭さんの万歳三唱。井手副支部長の閉会の辞で3時間が閉会しました。

53回の皆さんの来年の総会チケット販売が最後になりその点が反省でした。

秋の散歩会を10月25日柴又帝釈天を雨の中歩きました。8年ぶりの雨散歩でした。52名が傘さして寅さんの下町散策。帝釈天の大木の下で記念撮影。山本亭から寅さんミュージアム見学、後藤久美子の写真に皆集中していました。矢切の渡しは雨で休み。柴又商店街の「とらや」でウナギご飯を飲みビールで乾杯。23回の加山康子さん達が頑張り黒字で開き。次17回傘寿祝い四谷☆散歩です。

春の黄城会☆散歩会は3月28日（土）17回企画傘寿祝いを池田・田中・渡邊幹事で外濠公園桜コースを55名で市ヶ谷⇒ニューオオタニ日本庭園で開花盛りの観桜記念撮影⇒迎賓館⇒13時昼食会・純広東家庭料理のKAHINで汗後の喉を潤しました。（関東支部長 高校19回 村上 徹）



中京支部

黄城会中京支部活動に日頃より多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。令和7年、我々中京支部はこの1年間も様々な事に取り組んで参りました。

毎年の恒例行事としたい花見会は雨天のため残念ながら中止となりましたが、サガン鳥栖の岐阜県での試合への応援企画、中京佐賀県人会の総会やゴルフイベントへの参加。県人会繋がり九州県人会合同交流会、鹿島市浜町出身の方を中心としたムツゴロウ会への参加など黄城会や小城にこだわらず佐賀出身の方たちのコミュニティへ積極的に参加をしてきました。これにより相互における協力関係が出来ており中京支部のイベントや総会へのご参加も頂戴しております。少ない人数での運営の中京支部にとっては本当にありがたいことです。

中京支部総会に関しては21名のご出席者数と若干少なめの人数でしたが実行委員会の江口さんのずっこけマジックショー、藤井さんのサックス演奏やみなさんでの歌などこれまでで一番と言ってよいほど最高に盛り上がりました。ご遠方よりご参加いただきありがとうございます。

もちろん関西・関東の支部総会にも1名ではありますが参加させて頂きました。各支部総会も支部の方々のご尽力もありそれぞれ個性のある楽しい総会だったと報告を受けております。

中京支部では役員会をオンラインで毎月1回定期的に開催し、都度様々な課題とその解決に議論を重ねています。毎年の支部総会を最終目標に年間を通じた色々な行事でお越し頂ける皆様により楽しんで頂けるように取り組んでおります。

毎回で恐縮ですが、会報をお読みいただいている皆様へお願いでございます。愛知県・岐阜県・三重県など中部地区にお住まいの小城高校卒の方や佐賀県繋がりの方の集まりに参加しても良いと思って頂ける方をご存じのようでしたら中京支部または本部までご一報頂きますと幸いです。

今後も意義ある、楽しい支部運営を邁進して参りますので皆様方のご助言及びお力添えを何卒宜しくお願い申し上げます。

（中京支部事務局長

高校40回 堤 淳）

関西支部

令和7年度関西支部総会は、2025年9

月21日に道頓堀ホテルで開催されました。参加者は総勢56名と前年度を上回る活況を呈し、特に24回卒の古賀会長による支部広報での熱心な呼び掛けに応じ、多くの同期生が参集して会場を盛り上げました。

第一部では活動報告に続き、卒業50周年を迎えた27回期の3名へ記念品が贈られました。第二部の懇親会では多彩なプログラムが披露され、なかでも17回卒・大坪了さんによる「居合演武」は圧巻でした。研ぎ澄まされた剣の動きに出席者全員が息を呑んで見入り、会場は静寂と深い感動に包まれました。

事後アンケートでは懇親会の満足度が100%に達するなど、極めて高い評価を得ています。今後はホテル料金上昇への対策としてハガキからHP案内への移行による経費削減や、若年層向けのYouTubeLive配信活用など、伝統を守りつつITを取り入れた運営効率化を推進してまいります。（関西支部事務局長

高校27回 岡本 正史）



福岡支部

日頃より黄城会福岡支部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

好天に恵まれた中、多くの皆様にご参加いただき、心より御礼申し上げます。

令和7年度福岡支部総会は、支部役員の皆様や諸先輩方のご助言をいただきながら、52期福岡支部実行委員会一同が一丸となって準備を進め、おかげさまで盛会のうちに開催することができました。

福岡在住の52期だけでなく佐賀からの52期の応援を借りながらの運営となりました。この活動を通じて、同窓の仲間の絆や温かさ、大切さを実感いたしました。また、先輩方の総会での笑顔を見ることができ、黄城会のつながりの大事さを実感することができました。

今後は、次回総会に向けて、先輩としてできる限りの助言・サポートを行いながら、黄城会福岡支部のさらなる発展に努めてまいりたいと存じます。

今後とも変わらぬご支援・ご協力のほ

ど、よろしくお申し込み申し上げます。
(福岡支部 高校52回 三島 健次)



長崎支部

2025年度支部総会は10月19日に長崎市の「セントヒル長崎」で開催。2015年度に再発足して以来コロナ禍の3年間中止を挟んで8回目開催でしたが、出席者は過去最少の16名(長崎県在住者は10名)でした。それでも小城の方から古賀正人同窓会々長、平安寺徹事務局長、高尾和範小城高校々長、遠く福津市からは例年通り元福岡支部長岡本壽夫さんに出席頂き、また総会実行委員の阿部慶子さん、中山佐知子さんには明るいキャラクターで会を盛り上げてくださり、少人数ながら和気藹々とした楽しい会となりました。

中村嘉孝長崎支部長の歓迎の挨拶に始まり、同窓会長、学校長の挨拶と続き、そのあと例年「ふるさと通信」というミニ講演をして下さる元小城高校々長で現在は多久市郷土資料館々長の藤井伸幸さんが、今回は都合で出席できないということで、事前に藤井さんから事務局長の大石が預かった「博古図」という多久市の東原庫舎に保存されていた中国の古代青銅器宝物帳に関する資料を皆さんに披露しました。毎年多久市の聖廟で行われる「釈菜」で使用される三足の青銅器などの貴重な資料で、大変興味深いものでした。

懇親会は平安寺さんの乾杯の音頭で始まり、実行委員の挨拶、各人の自己紹介や近況報告のあと余興に入り、大村からの永尾薫さんがハーモニカで「アメーzingグレース」二胡で「浜千鳥」「夕焼小焼」「家路」など3曲を演奏し、また大石が恒例の頭の体操と連想式福引きゲームを行って会は盛り上がりしました。

最後の方で一同の記念写真撮影を行い、また小城高校々歌を全員で歌い、そして諫早からの古賀敏夫さんの開会の挨拶で会はめでたく終了しました。

過去2年間長崎市からの新しい出席者を期待して、支部総会の会場を長崎市にしましたがその成果がほとんど見られなかったのも、佐世保方面からの出席者のことも考慮に在りて、次年度は再び会場を諫早市に戻す予定です。

(長崎支部事務局長 高校10回 大石 太)

佐賀支部

「世代を超えた 豊かな結びつき」をスローガンに116名の参加者で盛大に佐賀支部総会を開催することができました。協賛広台や寄付金等でご支援をくださいました方々に厚く感謝申し上げます。一年ぶりにお会いする先輩の方々と後輩の皆

様が終始笑顔で楽しくされていたことが印象に残った総会でした。

今回、高尾校長先生の挨拶時に現役の生徒を十数名引率されていて生徒さんの生の声を聞くことができました。古賀黄城会会長からの報告では、やり繰りに御苦労があり感謝感謝です。懇親会では佐賀ユーモア倶楽部の皆さまの「ひとくちにわか」で笑いを集めました。恒例のじゃんけんゲームやお楽しみ抽選会と和やかなうちに進行し、みんなで一緒に校歌斉唱をして友情と絆をしっかりと感じる事ができました。53期生の実行委員のメンバーが快く協力を頂き事務局として大変助かりました。

今年度は11月8日(日)にグランデはがくれにて開催いたします。お住まいの地域に関係なくどなた様も参加できます。よろしくお申し込みいたします。

(佐賀支部事務局長

高校30回 川内野寿氏)



唐津支部

昨年度の総会案内を往復はがき150通から封筒での案内に切り替え高校49回期までの197名分を準備しました。これまでの3割回答を超えることを願い投函しましたがわずかに26通の回答でした。どのような方法が支部会員に再会の想いが届くのか悩み、他支部のようにSNSなどを活用した呼びかけが必要であると感じたところです。

支部総会では、古賀会長、平安寺事務局長、高尾校長からの学校や生徒の近況、新旧本部総会実行委員会からの挨拶、懇親会では、参加者24名全員の自己紹介、白いちごなどの唐津特産品を参加者持ち寄り抽選会、終わりには恒例の校歌斉唱を行いました。

欠席回答では「体調が優れず」「ぜひ次回は」などのコメントがあり少数ながらも総会開催に向け準備を進めているところです。

今年度は令和9年2月7日に唐津市内にて開催しますので、一人でも多くの会員が参加されるよう支部役員でお待ちしております。

(唐津支部 事務局長

高校43回 濱村 宣弘)



多久支部

第38回黄城会多久支部総会を令和8年3月1日(日)に開催しました。予定では2月8日(日)開催としていたのですが、急遽決定した衆議院選挙の投票日と重なり他の例に漏れず延期となりましたが、当日は35名ほどの会員にご参加をいただき、天候にも恵まれ盛況に開催できたことをありがたく思います。

総会内では、冒頭に藤田和彦支部長より退任の意向を受け、古賀通雄副支部長の支部長選出を行いました。藤田和彦支部長には、これまで務めていただき大変感謝申し上げます。続いて、黄城会本部古賀正人会長、小城高等学校高尾和範校長より来賓を代表してご挨拶をいただき、事業報告及び53回生による2026年黄城会総会の案内などを行っています。

総会後には懇親会を開催し、前年に引き続き多久ミュージカルカンパニーの公演、会員有志による舞踊、歌謡の披露で大いに盛り上がり、会員相互の懇親について大変有意義なひと時となりました。

ご出席いただいた来賓の皆様、会員の皆様、また開催にご尽力いただいた52回生、53回生に感謝申し上げます。黄城会多久支部からの報告とします。

黄城会多久支部は支部長が新しく古賀通雄支部長となり新体制となります。よろしくお申し込みします。

(多久支部事務局長

高校46回 川瀬 理)

県庁支部

令和7年10月29日、グランデはがくれにおいて、総勢38名の参加により黄城会県庁支部総会を開催しました。

県庁支部では、令和元年以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により活動を縮小していましたが、令和元年以来、数年ぶりに総会を開催することができました。

当日は、来賓として古賀黄城会会長、安永副会長をはじめ、母校小城高校から高尾校長先生、佐賀支部から徳久支部長、また県議会から藤木議員(高校38回)、藤崎議員(高校41回)をお迎えし、久しぶりの開催にふさわしく、大盛会となりました。

県庁支部の会員は、行政の様々な分野に分散しており、なかなか業務の中での交流の機会はありませんが、本総会は旧交を温めるとともに、幅広い情報交換ができる貴重な機会となりました。参加者からも「総会は大変な交流の場」との声が多く寄せられ、改めて開催できた意義を強く感じています。

一方で、活動をしばらく縮小していた影響もあってか、若年層の参加が少ない状況だったのが反省点です。今後は、より幅広い年代の会員が参加しやすい交流の機会の創出を検討し、県庁支部の活動のさらなる活性化に取り組んでいきたいと考えています。

(県庁支部

支部長 高校39回 井手 宣拓
幹事長 高校39回 高塚 光明
轟木 直)

28回生 卒業50周年を迎えて

28回生の絆は私たちの財産です



高校28回
井手美保子

卒業25年を経て総会実行委員として同級生と再会し、50年を経てその歩みを祝ってもらった。今回、50周年を迎え改めて先人の発案の重みを実感しました。脈々と受け継がれている他に類を見ない黄城会の伝統です。68・69歳になった今、母校の体

育館ステージで何ができるか。1年前から同窓会・総会の実行委員会を重ね、当日を迎えました。選んだパフォーマンスは、卒業式に中島みゆきの「時代」で見送られた私たちが、半世紀を過ぎ、「時代」を持ってここに帰ってくることに、そして小城高校、黄城会、先輩・後輩にエールを贈ることでした。当日は50年の歩みをスクリーンで放映しながらの「時代」合唱と応援団OBの演舞に合わせた「応援歌」「校歌」斉唱を、小城高校吹奏楽部・合唱部、そして会場

の皆様が応援してくださいました。黄城会の温かさに私たちが感動とエールをいただきました。73名に加え参加できなかった同級生そして永眠しました26名の同級生も含め、この時を過ごせたことに心より感謝申しあげます。

1976年3月に小城高校を卒業した私たち28回生は、これまでの50年を誇りに思い、再び自分の道を歩んでいきます。そしてこの繋がりは、これからも続いていきます。

“ 〈同級生の声〉 ”

卒業して50年が経ったけれど、みんなの顔を見て一瞬にして共有できたことにとても幸せを感じた。

応援団の演舞をすることができた。今日は50年前の自分を出し切ろうと思ってやった。すっきりした。

佐賀の人たちのこの集まりが温かくて、世界遺産かもしれない。このパワーが誇らしい。

「時代」を歌って、昔を思い出して涙を流している人もたくさんいた。本当にいい会だった。

私たちが吹奏楽部の初代。50年後の成長した後輩たちの演奏に感動した。



ゆめプラット小城で昼食懇親会をしました

黄城会総会を終えて

2026年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 永田 康（高校53回）



新緑の清々しい風が吹き抜ける季節に、伝統ある黄城会総会を無事に開催できましたことを、まずは心より御礼申し上げます。残念ながら雨となりましたが、ご多忙のなか、全国各地からお越し頂いた会員の皆様に実行委員会を代表して感謝申し上げます。

令和8年度の総会は「大楠の下で、再会—これまでも これからも—」をスローガンに掲げ、準備を進めてまいりました。昨年は副実行委員として何もわからず参加した総会でし

たが、世代を超えた同窓生の皆様が笑顔で旧交を温め、現役生徒の活躍に目を細める姿を再び拝見することができ、改めて黄城会という歴史の重みを肌で実感いたしました。

手探りの状態からスタートした実行委員会でしたが、先輩方からの心強いアドバイスと、何より53期の仲間たちの惜しみない協力があったからこそ、この総会を成功させることができました。53期が一丸となって成し遂げたこの経験は、私たちにとても生涯の財産となりました。

令和8年度の総会は閉幕いたしました。毎年の総会での再会と絆が、会員の皆様の明日への活力となり、母校のさらなる発展へとつながることを切に願っております。

最後になりますが、総会の準備にあたり、温かいご支援をいただきました古賀会長をはじめ黄城会役員、事務局の皆様、山下校長先生や学校関係者の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

お詫び

5月3日黄城会総会当日に配布しました参加者名簿におきまして、掲載漏れがございました。ここにお詫びを申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。

新高 29期 天本 真子 様 井手 真喜子 様 江打 邦彦 様

『令和9年度 黄城会総会に向けて』

2027年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 諸石 和也（高校54回）



このたび、令和9年度黄城会総会の実行委員長を務めさせていただくことになりました。諸石和也でございます。

120年以上の長きにわたり受け継がれてきた黄城会の歴史と、これまで会を支えてこられた諸先輩方のご尽力を思いますと、その大役に身の引き締まる思いであります。

私は現在、多久市にて一人親方として建築業に携わり、地域の皆様を支えられながら日々仕事に励んでおります。また、地域のつながりや行事を大切にしており、地元多久で開催される多久山笠には、毎年楽しみに参加させていただいております。こうした地域との関わりの中で培ってきた経験やご縁を、今回の総会運

営にも活かしていきたいと考えております。

私たち54回期は、卒業してからこれまでに同窓会を一度も開催したことがなく、今回、黄城会の当番回期を迎えたことをきっかけに、実に25年ぶりに互いに連絡を取り合い、再び顔を合わせる事となりました。

久しぶりに再会した仲間たちとの交流を通じて、年月を重ねても変わる事のないご縁のありがたさや、人と人をつなぐ大切さを、改めて実感しております。

また、先日開催された令和8年度黄城会総会に参加し、先輩方と後輩の皆様が世代を超えて自然につながり、交流されている姿に触れ、黄城会の持つ温かさと、その広がりの大

きさに深い感銘を受けました。これから多くの先輩方、後輩の皆様と新たに繋がるご縁を、心から楽しみにしております。

実行委員長としては不慣れな点も多く、行き届かないこともあるかと存じますが、仲間と力を合わせ、また諸先輩方のご指導ご鞭撻をいただきながら、この大役を一つひとつ全うしてまいりたいと考えております。

微力ではございますが来年の総会が皆様の心に残るひとときとなり、次の世代へと繋がる総会となるよう、誠心誠意努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

剣道で培った「不屈の心」を糧に、世界へ貢献する知性を求めて

手島 遼太（関西学院大学 経済学部）

小城高校で過ごした三年間は、校訓である「創意・挑戦・誠実」を自らの行動指針とし、人間として大きく成長できた貴重な時間でした。特に三年間全うした剣道部での活動は、私の精神的な土台となりました。厳しい稽古の中で、実力を発揮できず挫折を味わうこともありました。が、「今、楽をすることは将来の自分につながるのか」と自問自答し、逃げずに立ち向かう精神力を養うことができました。

受験勉強においても、この部活動で培った忍耐力が支えとなりました。目標に向けて計画を立て、粘り強く努力を継続する大切さを学んだのは、小城高校の先生方の熱心なご指導と、切磋琢磨し合える仲間の存

在があったからです。また、毎朝早くから支えてくれた家族の存在、温かいお弁当や励ましの言葉が、どれほど大きな原動力になったか計り知れません。

私は、現代社会が抱える貧困や環境問題といった課題を経済の視点から解決したいと考え、関西学院大学経済学部への進学を決めました。大学のモットーである「Mastery for Service（奉仕のための練達）」は、小城高校で学んだ「周囲を見て自分ができる最善を尽くす」という人間力と深く響き合うものです。ボランティア活動や国スポでの運営補助を通して実感した、社会に貢献する喜びを、これからは学問を通じてさらに深めていきたいと考えています。

高校入学当初の自分が見たら、今の私の決意に驚くかもしれません。しかし、小城高校での多くの出会いと経験が、私を「世界市民」としての第一歩へと導いてくれました。この素晴らしい環境に恵まれたことに深く感謝し、新たな舞台でも挑戦し続けていきたいと思っています。小城高校の皆さん、三年間本当にありがとうございました。



「挑戦」の三年間に導かれて一進学、そして夢への決意一

江打 彩乃（佐賀大学教育学部 中学校教育主免専攻）

小城高校で過ごした三年間、私は学力の向上と共に、校訓である「創意・挑戦・誠実」を胸に刻み、「心の偏差値」を高めるべく精進してまいりました。

振り返れば、受験勉強の日々は身体的にも精神的にも厳しく、時に葛藤を抱えることもありました。しかし、先生方の温かいご指導や、切磋琢磨し合う仲間の姿に何度も勇気づけられ、前を向くことができました。また、毎日欠かさずお弁当を作り、心身を支えてくれた家族の存在があったからこそ、安心して学業に打ち込むことができた深く感謝しております。

部活動においては、二年生からの途中入部という形ではありましたが、目標に向かって邁進する仲間や、情熱溢れる先生方との出会いが私を変えてくれました。何事にも積極的に挑戦する大切さを学び、三年生になってからは後輩を導く経験を通じて、伝えることの難しさと喜びを知りました。この経験が、教育学部へ進学し「教師になる」という私の将来の夢を決定づけてくれました。

かつてはどこか冷めていた自分が、今こうして確かな目標を持ち、前向きに歩んでいる姿は、当時の自分では想像もできなかったことでしょう。これほどまでに成長できたのは、小城高校という素晴らしい環境と、そこでのかげがえのない出会いがあったからです。さらには「黄城教育会館奨学生」として、古賀会

長をはじめ多大なるご支援をいただきながら大きく成長することができました。

黄城会の先輩方が築き上げてこられた伝統に恥じぬよう、小城高校の卒業生としての誇りと感謝を忘れず、大学という新たな舞台でも挑戦を続けてまいります。三年間、本当にありがとうございました。



合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】北見工業大学1／名古屋大学1／京都大学(1)／島根大学2／山口大学2(1)／愛媛大学1／九州大学1／九州工業大学1／福岡教育大学2／佐賀大学17(1)／長崎大学3／熊本大学2／大分大学1

【公立大学】新見公立大学1／山陽小野田市立山口東京理科大学1／周南公立大学1／下関市立大学2／北九州市立大学1／長崎県立大学11／名桜大学1

【私立大学】国際医療福祉大学7／駒澤大学2／芝浦工業大学1／法政大学2／明治大学2／神奈川大学2／京都産業大学6／同志社大学1／関西大学2／近畿大学3／関西学院大学1／広島工業大学1／九州共立大学1／九州産業大学13／九州女子大学3／久留米大学53／久留米工業大学7／西南学院大学9／西南女学院大学1／第一薬科大学2／筑紫女学園大学3／中村学園大学7／福岡大学33／福岡工業大学4／福岡女学院大学1／日赤九州看護大学2／聖マリア学院大学1／福岡国際医療福祉大学6／西九州大学30／武雄アジア大学1／長崎純心大学2／長崎国際大学1／長崎外国語大学3／熊本学園大学5／崇城大学2／別府大学1／その他 東北・北海道地区大学2／その他 関東・甲信越地区大学2／その他 東海・北陸地区大学9／その他 関西地区大学3／その他 九州地区大学13

【短期大学】西九州大学短期大学部2／佐賀女子短大6／その他の私立短大6

【その他】文科省外大学校5／好生館看護学校8／嬉野医療センター附属看護学校5／その他専門学校18／就職(公務員)8

部活動の成績

【体育部】

1.陸上

○第61回国見台陸上競技選手権大会／女子個人 女子走高跳 優勝 米田七海

○第80回佐賀県陸上競技選手権大会／女子個人 女子走高跳 第2位 米田七海

○第63回佐賀県高等学校総合体育大会陸上競技／男子個人 男子400m 第3位 岩本成晃

○第63回唐津市相知ロードレース大会／男子個人 5km高校生男子第1位 17分43秒 家永 匠／5km高校生男子 第1位 家永 匠

2.卓球

○佐賀県高等学校選抜卓球大会／女子個人 女子シングルス 第3位 古里菜穂

3.少林寺拳法

○第43回佐賀県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技／男子その他 第2位 原田裕基／男子その他 第2位 馬場悠成

○第13回全九州高等学校少林寺拳法大会／男子その他 第2位 原田裕基／男子その他 第2位 馬場悠成

○模範競技者賞／個人 原田裕基

4.柔道

○第63回佐賀県高等学校総合体育大会柔道競技／女子団体 3位／女子個人 優勝(78kg級) 秀瀬あゆな／女子個

人 2位(70kg級) 野口結生／女子個人 3位(52kg級) 福田まみ／女子個人 3位(70kg級) 石隈友葉

○令和7年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技大会／女子団体 第3位／女子個人 優勝 前田芽依／女子個人 3位 久原 凜／女子個人 3位 高木 風

○第48回全国高等学校柔道選手権佐賀県大会／個人 優勝 前田芽依



5.剣道

○令和7年度第59回佐賀県高等学校春季剣道大会／男子団体 2位

○令和7年度第31回黒木旗高等学校剣道大会／女子団体 3位

○第63回佐賀県高等学校総合体育大会剣道競技／男子団体 3位／女子個人 2位 野口きらら

○第79回国民スポーツ大会／男子団体 第4位

○令和7年度佐賀県高等学校新人剣道大会剣道競技大会／男子団体 第3位／女子団体 第3位／男子個人 第3位 古賀飛輝／女子個人 第3位 諸岡史歩

○第35回全国高等学校学校剣道選抜大会県予選会／男子団体 第3位／女子団体 第3位

○片山旗争奪剣道大会／男子団体 第3位

○第35回全国高等学校学校剣道選抜大会県予選会／女子団体 第3位

6.弓道

○令和7年度国民スポーツ大会弓道競技選手選考会／女子個人 第2位 宗田瑞蒼来

○令和7年度佐賀県弓道学年別大会2年の部／男子団体 3位／女子団体 2位／女子個人 2位 田淵櫻和

○第70回多久市民スポーツ大会 弓道競技遠的／女子個人 優秀選手賞 田淵櫻和

○第71回多久市民スポーツ大会 弓道競技近的／高校生の部 男子個人 準優勝 吉岡歩夢

7.バドミントン

○第63回佐賀県高等学校総合体育大会バドミントン競技／女子団体 第2位

○令和7年度佐賀県高等学校新人バドミントン競技大会／女子団体 第3位

【文化部】

1.放送

○第72回NHK杯高校放送コンテスト佐賀県大会／女子個人 奨励賞 木下沙音／女子個人 奨励賞 蘭 琴羽

○第49回佐賀県高校放送コンテスト／個人 優良賞 牛島彩葉／個人 奨励賞 秋永乃愛／個人 奨励賞 兵動黎汰

○第26回アバンセ杯放送コンクール／奨励賞 牛島彩葉／優良賞 兵動黎汰

2.美術

○第78回佐賀県高等学校スケッチ大会／女子 特選 田中沙依／準特選 古

江憧子

○第37回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展／デザイン部門 特選 阿久津心渚／デザイン部門 準特選 常森彩那

3.吹奏楽・合唱

○第66回佐賀県吹奏楽大会／団体 Aパート銀賞

○第51回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト／団体 クラリネット四重奏 金賞

○第49回佐賀県高等学校音楽コンクール木管楽器部門／個人 銀賞 八田怜音

○第49回佐賀県高等学校音楽コンクール打楽器部門／個人 銀賞 山本詩織

4.書道

○第33回佐賀県書道展／新人賞 上瀧正晃

○第77回佐賀県高等学校席書大会／特選(創作の部) 上瀧正晃／特選(創作の部) 毛利愛菜／特選(創作の部) 田中陽菜／特選(創作の部) 川内和奏／特選(臨書の部) 落合未結／特選(臨書の部) 深川結愛／特選(臨書の部) 山口莉奈／特選(臨書の部) 久保碧唯／特選(臨書の部) 北川夢稀／特選(臨書の部) 大久保沙耶／特選(臨書の部) 岸川 凜／特選(臨書の部) 小柳ひなた

○第9回全九州総合文化祭書道部門席上揮毫大会／第3席 上瀧正晃

○第49回佐賀県書作家協会展／書作家協会賞 古賀美智

○第50回佐賀県高等学校臨書大会／特選 山口莉奈／特選 久保碧唯／特選 大久保沙耶／特選 深川結愛／特選 永廣芽愛／特選 北川夢稀／特選 小柳ひなた／特選 瀧上琉菜／特選 土橋優香

○第30回全国高等学校書道コンクール／準大賞 北川夢稀／準大賞 大久保沙耶／準大賞 岸川 凜／全日本高等学校書道教育研究会賞 落合未結／全日本高等学校書道教育研究会賞 山口莉奈／全日本高等学校書道教育研究会賞 深川結愛／全日本高等学校書道教育研究会賞 小柳ひなた

○第37回佐賀県高等学校総合文化祭書道展／特選 深川結愛／特選 北川夢稀／特選 次年度九州大会出場 山口莉奈／特選 岸川 凜／特選 瀧上琉菜／特選 土橋優香

○第41回高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会／日本武道館賞 山口莉奈／日本武道館賞 深川結愛／日本武道館賞 上瀧正晃／日本武道館賞 川口倫奈

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

○第24回全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 上瀧正晃／書道展賞 秀島 凜

【その他】

○第49回佐賀県高等学校音楽コンクールピアノ部門／個人 金賞 江里陽花

○九州大学ジュニア・アクセシビリティ・ピアサポーター／認定証 常陸蘭

○第71回青少年読書感想文コンクール県審査／優良賞 上瀧正晃

○第69回西日本読書感想文コンクール／特選 多久島愛唯

○第61回新春読書感想文コンクール県審査／佐賀県知事賞 永廣芽愛／優秀賞 吉田さくら

令和7年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧（敬称略）

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨の通りに有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧制中42)	野口武男	田中(音成)和子	松口(森永)鈴子	(高校22)	水田勝久	(高校38)
於保實美	久本哲義	永尾薫	峯康則	大坪則文	宮崎(永橋)令子	野田益弘
(高校7)	真子輝雄	中島(北村)要子	村上徹	大家保幸	吉谷和敏	野中和光
上村(羽島)満子	(高校12)	真島照男	森永(立石)都和子	金田昌博	(高校28)	(高校39)
森永英彦	井手良祐	持永(真子)正彦	匿名希望 1人	熊井隆光	鮎川(光岡)正博	東島純一
和田(浜口)茂則	大島文雄	吉原国康	(高校20)	宮崎公彦	井手(鶴)美保子	(高校40)
(高校8)	鬼塚重則	(高校16)	江口幹郎	(野口一三)	岡本秀実	飯盛(古賀)裕美
金子(日出島)京子	岸川(本村)暢子	岡田史一	大原(名尾)かおる	(高校23)	北島哲己	(高校41)
公文(田代)益子	永山(北島)矢枝子	古賀紀昭	岡田修三	柴田(塚原)春美	坂本(肥山)瞳	飯盛宏徳
西山俊幸	林義人	高木靖哉	川原田徳治	永渕(原)幸子	武田(山田)郁子	森永健一
南川(田中)美登里	平野(村口)多喜子	(高校17)	岸川宗一郎	南里信幸	寺西(井手)秀佳	山崎(黒岩)史子
(高校9)	(高校13)	石井保廣	北島和道	(高校24)	西(諸泉)英子	(高校43)
上坂義重	明石信子	大浦(小川)樞子	北島高美	古賀正人	平川(大橋)秀子	熊本仁
匿名希望 1人	坂口捷哉	小原鶴子	早田光孝	南里(安永)純子	(高校29)	濱村宜弘
(高校10)	田島(深川)仁子	金子津奈男	竹浦(伊東)ひろ子	西村直	井手(音成)真喜子	松本智弘
稲富饒	中尾久司	田中善吾	寺山(桜井)まゆみ	藤本富男	押方守	(高校44)
大石太	永山重隆	松尾剛之	南里一夫	森(土井)数子	土橋敬治	笠原昌紀
岡本壽夫	樋口秀利	山内敏博	南里種司	森永茂	富永(安藤)陽子	橋本敏
岸川英俊	古川秀満	山下拓治	原田(野口)京子	(高校25)	野口友親	(高校45)
黒岩弘	古川(永野)悠紀	吉田紘二郎	藤川秀行	平安寺徹	雪竹稔	野方(山崎)眞智子
古賀政利	(高校14)	(高校18)	本村光節	三根英樹	(高校30)	松尾幸樹
定松(佐々木)和代	岩崎淳子	今泉美土	盛口(山本)紀文	(高校26)	中島(大峰)聡子	(高校51)
志波保彦	太田(鈴木)節子	大坪正明	吉本祥二	内海唯史	永渕(花島)眞智子	川頭裕樹
田中嘉典	平美紀	野田(木塚)ひとみ	(高校21)	川副春海	吉谷弘	(高校52)
西岡(香田)敏子	徳勝秀俊	古舘豊	阿部(天ヶ瀬)眞紀子	楠田和彦	(高校31)	小副川功二
藤谷顕	橋口邦紘	松尾啓一	江口(北島)八千代	田中伸子	卯野木隆宏	(高校55)
松枝修三	服巻鳩夫	松瀬初男	大野典博	橋本(笹川)秀子	中村(田中)貴代香	野中正也
松本(深川)リエ子	福島(真子)治枝	水田(平川)瑞子	小野(小柳)信子	福田(鷺頭)智恵子	松瀬弘	嶺川敬亮
水田要	(高校15)	村山龍彦	久須美達郎	藤(大野)きみ子	(高校32)	(定時本校2)
牟田口博司	石本勝昭	吉次(豆田)悦夫	鈴山康信	(伊原逸子)	江里口忠征	中尾和弘
(高校11)	板垣(牛丸)修	(高校19)	田原泰明	(高校27)	大坪敏郎	(定時本校11)
井上通正	大坪睦典	陣内良行	中村(一ノ瀬)津多子	永田(林田)由美	(高校33)	藤尾成能
倉永寿子	久保(荒木)富子	角田政芳	本村豊	野田由紀子	中島信哉	
末田(下村)順子	七田義孝	堤成太郎	山北(川内丸)郁子	馬場智子	(高校36)	
関(鍵山)鈴子	陣内由晴	百武(水田)好光		福山英美	東出(真島)早苗	

令和8年度黄城会役員一覧

▷会長＝古賀正人（高24）▷副会長＝徳久英二（高22）井手美保子（高28）安永正（高31）▷顧問＝山下康孝（校長）石丸博（教頭）園田幸平（事務長）▷理事＝川副富男（高5）佐々木昇三（高7）大野雅央（高8）金丸盛登（高9）牟田口博司（高10）真子輝雄（高11）小柳平一郎（高12）中尾久司（高13）青柳隆（高14）七田義孝（高15）

江里口勉（高16）松尾剛之（高17）村山龍彦（高18）江口武（高19）野田豊秋（高20）坂井正徳（高21）坂井一彌（高22）江里口秀次（高23）中山章（高25）川副春海（高26）横尾俊彦（高27）岡正幸（高30）伊東猛彦（高32）水田信（高33）松尾直人（高35）西岡聖師（高36）梶原聖司（高37）北島清孝（高38）香川弘行（高39）高塚誠（高40）森永健

一（高41）野田一彦（高42）西田亮（高43）測上史貴（高44）徳重隆仁（高45）吉次篤司（高46）梶原泰宏（高47）田中雅久（高48）上瀧賢治（高49）副島剛（高50）木下直登（高51）音成信介（高52）▷監事＝秋野和之（高28）雪竹稔（高29）真崎俊夫（高34）▷事務局長＝平安寺徹（高25）▷庶務＝千綿真由美▷会計＝馬場智子（高27）

支部役員一覧

【関東支部】▷支部長＝村上徹（高19）▷副支部長＝井手勇人（高31）▷幹事長＝井上勇次（高21）▷副幹事長＝於保啓子（高30）▷事務局長＝川副隆之（高32）

【中京支部】▷支部長＝力武勉（高17）▷副支部長＝梅谷雅和（高17）▷副支部長＝中嶋桂子（高25）▷副支部長＝手塚信行（高19）▷事務局長＝堤淳（高40）▷事務局次長＝吉田了（高43）▷会計＝真子博行（高39）

【関西支部】▷支部長＝南里種司（高20）▷副支部長＝新田安典（高22）▷副支部長＝村岡敏幸（高26）▷事務局

長＝岡本正史（高27）▷事務局次長兼会計＝尾形茂（高29）▷会計監査＝中島紹憲（高28）

【長崎支部】▷支部長＝中村嘉孝（高18）▷事務局長＝大石太（高10）

【福岡支部】▷支部長＝堺八千代（高25）▷副支部長＝古賀省吾（高26）▷幹事長＝音成芳和（高36）▷副幹事長＝小林佐登子（高33）▷副幹事長＝陣内晋作（高38）

【佐賀支部】▷支部長＝徳久英二（高22）▷副支部長＝金丸盛登（高9）▷副支部長＝中島栄子（高17）▷副支部長＝西山大作（高26）▷事務局長＝川

内野寿氏（高30）

【唐津支部】▷支部長＝鮎川正博（高28）▷副支部長＝永測明則（高16）▷事務局長＝濱村宜弘（高43）

【多久支部】▷支部長＝古賀通雄（高23）▷副支部長＝大塚恭子（高19）▷副支部長＝江口光幸（高25）▷幹事長＝駄原博美（高27）▷事務局長＝川測理（高46）

【県庁支部】▷支部長＝井手宣拓（高39）▷幹事長＝高塚光明（高39）▷幹事長＝轟木直（高39）

物故者掲載の取り扱いにつきまして

平素より黄城会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、理事・監事会での協議の結果、個人情報保護の観点から、今後の会報における物故者名の掲載を取りやめることとなりました。

なお、会報への掲載は行いませんが、名簿の変更等につきましては、これまでどおり黄城会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

来年度会報発送のお知らせ

ここ数年の会費納入の減少により黄城会財務が厳しい状況が続いており、経費削減の一環として来年度から会報発送を変更いたします。

90歳以上の方と、会費納入していただいた方への発送となります。大変申し訳ありませんが、ご理解のほど宜しくお願いします。

黄城会事務局長 平安寺 徹

寄 付

一般寄付金	●前小城高校長 高尾和範様	10,000円
	●高校30回生一同様	2,600円
	●高校40回生一同様	2,100円
	●高校27回生一同様（卒業50周年）	50,000円
	●高校2回 故鶴修三様	10,000円
	●高校5回 故南里千枝子様	10,000円
	●高校24回 故馬場亨様	10,000円

（令和7年4月～令和8年3月）

ご寄付いただきありがとうございました。

令和7年度黄城会本会計決算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

(収入)				(単位:円)			
No	費目	当初予算額	収入額	比較増減	備考		
1	会費	3,000,000	2,154,000	▲ 846,000	会員869口より(令和7年度納入分)		
2	入会金	2,109,600	2,120,400	10,800	在校生589人より		
3	会員寄付金	1,000,000	1,418,000	418,000	会員197口より		
4	一般会員寄付金	50,000	101,600	51,600	卒業50周年(高2)750,000円、前校長・高尾和雄氏10,000円、故郷修三氏(高2)10,000円、故郷里千枝子氏(高5)10,000円、故郷堤亨氏(高2)10,000円		
5	雑収入	10,000	14,382	4,382	預金利息等		
6	繰入金	0	0	0			
7	繰越金	9,038,790	9,038,790	0	前年度より		
合 計		15,208,390	14,847,172	▲ 361,218			

(支出)				(単位:円)			
No	費目	当初予算額	支出額	比較増減	備考		
1	会報発行費	700,000	600,216	99,784	10,300部		
2	黄城会入会費	240,000	111,700	128,300	卒業生への記念品代		
3	支部活動助成費	160,000	151,300	8,700	全国8支部へ(936人分)		
4	回期活動助成費	50,000	44,500	5,500	高27回～高52回の各回期へ(445人分)		
5	会費徴収費	1,800,000	1,719,779	80,221	会費・会員寄付金案内書、振込手数料		
6	会議費	250,000	168,498	81,502	理事・監事会、評議員会		
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0			
8	支部関係渉外費	900,000	916,240	▲ 16,240	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費		
9	慶弔費	50,000	20,000	30,000	卒業50周年記念品料		
10	補助金(一財)黄城教育会館	5,000,000	5,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として		
11	基金	1,000,000	0	1,000,000			
12	運営積立金	50,000	50,000	0			
13	名簿積立金	50,000	50,000	0			
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0			
15	消耗品費	100,000	69,708	30,292	PCトナー・カードリッジ代、事務用文具代		
16	通信費	300,000	214,014	85,986	電話料、郵送料、インターネット回線利用料等		
17	事務委託費	300,000	0	300,000			
18	賃借料	440,000	409,200	30,800	PCソフトウェア、メンテナンス料		
19	雑費	200,000	204,400	▲ 4,400	小城高枝活動支援金、小城高枝卒業アルバム		
20	予備費	50,000	0	50,000			
合 計		11,710,000	9,799,555	1,910,445			
次年度繰越金		3,498,390	5,047,617	1,549,227			

令和8年度 黄城会本会計予算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(収入)				(単位:円)			
No	費目	令和8年度	令和7年度	比較増減	備考		
1	会費	3,000,000	3,000,000	0			
2	入会金	2,131,200	2,109,600	21,600	在校生602名より(入会金)(592人×300円×12月)		
3	会員寄付金	1,000,000	1,000,000	0			
4	一般会員寄付金	50,000	50,000	0			
5	雑収入	10,000	10,000	0	預金利息等		
6	繰入金	0	0	0			
7	繰越金	5,047,617	9,038,790	▲ 3,991,173	前年度より		
合 計		11,238,817	15,208,390	▲ 3,969,573			

(支出)				(単位:円)			
No	費目	令和8年度	令和7年度	比較増減	備考		
1	会報発行費	700,000	700,000	0			
2	黄城会入会費	240,000	240,000	0	卒業生への記念品代		
3	支部活動助成費	160,000	160,000	0	全国8支部へ		
4	回期活動助成費	50,000	50,000	0	高28回～高53回の各回期へ		
5	会費徴収費	1,800,000	1,800,000	0	会費・会員寄付金案内書、振込手数料		
6	会議費	250,000	250,000	0	理事・監事会、評議員会		
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	職員歓送迎会祝儀		
8	支部関係渉外費	900,000	900,000	0	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費		
9	慶弔費	50,000	50,000	0	卒業50周年記念品料ほか		
10	補助金(一財)黄城教育会館	3,000,000	5,000,000	▲ 2,000,000	黄城教育会館の運営費として		
11	基金	1,000,000	1,000,000	0			
12	運営積立金	50,000	50,000	0			
13	名簿積立金	50,000	50,000	0			
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0			
15	消耗品費	100,000	100,000	0	PCトナー・カードリッジ、事務用文具代等		
16	通信費	300,000	300,000	0	電話料、郵送料、インターネット回線利用料等		
17	事務委託費	300,000	300,000	0	システム開発		
18	賃借料	440,000	440,000	0	PCソフトウェア、メンテナンス料		
19	雑費	200,000	200,000	0	学生支援金、小城高校卒業アルバム		
20	予備費	50,000	50,000	0			
合 計		9,710,000	11,710,000	▲ 2,000,000			
次年度繰越金		1,528,817	3,498,390	▲ 1,969,573			

令和7年度（第14期）一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科	目	令和7年度予算	令和7年度決算	備	考
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	1,000	12,948		
	基本財産受取利息	1,000	12,948	基本財産定期預金利息	
	事業収益	100,000	133,800		
	会館使用料	100,000	133,800	光熱水費使用費分	
	受取補助金等	7,460,000	7,495,850		
	運営費補助収入	7,460,000	7,495,850	黄城会、同窓会館維持費	
	雑収入	6,000	4,927		
	受取利息	1,000	4,927	預金利息	
	雑収入	5,000	0	コピー料	
	経常収益計	7,567,000	7,647,525		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000	小城高等学校奨学生(12名)	
	管理費	10,950,000	10,544,637		
	給料手当	2,700,000	2,793,400	職員2名分	
	法定福利費	35,000	34,843	雇用保険料	
	消耗品費	340,000	251,438	文具代、コピーカーカント料等	
	燃料費	120,000	118,954	ガス代、白灯油代	
	光熱水費	1,000,000	756,392	電気料、水道代	
	修繕費	2,400,000	2,163,000	通用口ドア、トイレ蛍光灯修理代	
	通信運搬費	35,000	12,276	郵送料	
	手数料	20,000	770	送金手数料	
	賃借料	30,000	24,580	会館敷地使用料	
	委託費	900,000	1,112,240	警備、電気保安、浄化槽管理等	
	登記料	80,000	0		
	火災保険料	170,000	175,780		
	減価償却費	3,110,000	3,100,964		
	雑費	10,000	0		
	経常費用計	12,390,000	11,984,637		
	当期経常増減額	▲ 4,823,000	▲ 4,337,112		
2.	経常外増減の部				
(1)	経常外収益	0	0		
	経常外収益計	0	0		
(2)	経常外費用	0	0		
	固定資産除去損	0	0		
	経常外費用計	0	0		
	当期経常外増減額	0	0		
	当期一般正味財産増減額	▲ 4,823,000	▲ 4,337,112		
	一般正味財産期首残高	0	124,512,293		
	一般正味財産期末残高	0	120,175,181		
II	指定正味財産増減の部				
	当期指定正味財産増減額	0	0		
	指定正味財産期首残高	0	0		
	指定正味財産期末残高	0	0		
III	正味財産期末残高	0	120,175,181		

令和8年度（第15期）一般財団法人黄城教育会館予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科	目	令和8年度予算	令和7年度予算	備	考
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	1,000	1,000		
	基本財産受取利息	1,000	1,000	基本財産定期預金利息	
	事業収益	100,000	100,000		
	会館使用料	100,000	100,000	会館使用料、エアコン使用料	
	受取補助金等	5,460,000	7,460,000		
	運営費補助収入	5,460,000	7,460,000	黄城会(300万)、同窓会館維持費(246万)	
	雑収入	6,000	6,000		
	受取利息	1,000	1,000	預金利息	
	雑収入	5,000	5,000		
	経常収益計	5,567,000	7,567,000		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000	小城高等学校奨学生(12名)	
	管理費	8,650,000	10,950,000		
	給料手当	2,700,000	2,700,000	職員2名分	
	法定福利費	35,000	35,000	雇用保険料	
	消耗品費	340,000	340,000	文具代、コピー機リース料、コピーカーカント料	
	燃料費	120,000	120,000	白灯油代	
	光熱水費	1,000,000	1,000,000	電気料、水道料	
	修繕費	500,000	2,400,000	高圧変電設備工事・電気設備工事等	
	通信運搬費	35,000	35,000	郵送料	
	手数料	20,000	20,000	水質検査手数料	
	賃借料	30,000	30,000	会館敷地使用料	
	委託費	500,000	900,000	警備、電気保安	
	登記料	80,000	80,000	変更登記料	
	火災保険料	180,000	170,000		
	減価償却費	3,100,000	3,110,000		
	雑費	10,000	10,000		
	経常費用計	10,090,000	12,390,000		
	当期経常増減額	▲ 4,523,000	▲ 4,823,000		

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円 ②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけたときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会 費】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
口 数	987口	937口	869口
金 額	2,540,000円	2,626,000円	2,154,000円

【会員寄付金】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
口 数	241口	201口	197口
金 額	2,724,827円	2,765,000円	1,418,000円

『回期たより』回期たよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご覧ください。

お知らせ

令和8年度 支部総会予定日

予定の変更があれば、その都度黄城会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

支部名	予定日	氏名	電話
関東	令和8年 8/30(日)	支部長 (高19) 村上 徹	090-3084-6866
中京	令和8年 9/19(土)	事務局長 (高40) 堤 淳	090-1728-1894
関西	令和8年 9/20(日)	事務局長 (高27) 岡本 正史	090-1021-4271
福岡	令和8年 10/24(土)	副支部長 (高26) 古賀 省吾	090-8669-4023
佐賀	令和8年 11/8(日)	事務局長 (高30) 川内野寿氏	090-8410-1054

支部名	予定日	氏名	電話
県庁	未定	幹事長 (高39) 高塚 光明	唐津土木事務所 955-73-2861
		幹事長 (高39) 轟木 直	佐賀土木事務所 0952-24-4348
長崎	令和8年 10/18(日)	事務局長 (高10) 大石 太	090-6774-1144
唐津	令和9年 2/7(日)	事務局長 (高43) 濱村 宜弘	080-1725-4591
多久	令和9年 2/14(日)	事務局長 (高46) 川淵 理	090-1083-5846

“小城高校×PICFA壁画プロジェクトへの御支援ありがとうございました！”

小城高校の生徒が障害者就労支援B型事業所PICFAのアーティストの方々共に昇降口に巨大壁画を描くプロジェクトに挑戦しました。

本年6月に立ち上げたクラウドファンディングでは、2か月という短期間にも関わらず、目標金額80万円を超える83万円もの御寄付をいただき、その他にも直接、寄付金を届けてくださった方もいらっしゃいました。

夏真っ盛りの8月23日から8月27日にかけて、PICFAのアーティストの皆さんと本校生徒200名以上による共同制作を行い、11月16日には、佐賀県副知事・引馬誠也様、佐賀県教育委員会教育長・甲斐直美様、小城市長・南里隆様、小城市教育委員会教育長・大野敬一郎様など多くの来賓の皆様にご臨席いただき、完成した壁画の披露会を開催することができました。完成した壁画は「オギノキボウ」と題し、「共に生きる社会への願い」を表すシンボルとなり、地域の皆様に多様性の大切さを伝えるきっかけになることを関係者一同願っております。



皆様からの温かい御支援に改めて深く感謝申し上げますとともに、皆様の御健康とますますの御発展をお祈りいたします。

佐賀県立小城高等学校 校長 山下 康孝

お知らせ

今後、黄城会の会報郵送をご希望されない場合は、お手数ですが下記にご連絡をお願いいたします。
電話 (0952) 72-7128 メール ojyokai@galaxy.ocn.ne.jp